



一般社団法人

# 関東沖縄経営者協会

Kanto Okinawa Management Association

会報  
第6号



発行日 2017年10月31日  
(1、4、7、10月発行)

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2 城辺橋ビル  
TEL 03-3271-5567  
FAX 03-3281-4320

URL <http://www.kanoki.jp/>  
FACEBOOK <https://www.facebook.com/kanoki.jp>

## 理事会報告

### 第一回理事会

7月20日(木)18時、於メディア・ワン会議室

○第51回定時総会 会計報告

○委員会報告

一、総務委員会

①第51回定時総会・講演会・懇親会の総括

②「沖縄賛助会員懇親会」について

③忘年会開催について

二、会員増強委員会

新規会員入会状況の報告

三、研修・人材開発委員会

第5回「経営セミナー」の開催について

四、その他

故大田昌秀元知事 県民葬へ仲松会長が参列。

故大田昌秀元知事 県民葬へ仲松会長が参列。

### 第二回理事会

8月17日(木)18時、於おきなわ家

○委員会報告

一、総務委員会

①「沖縄賛助会員懇親会」の詳細

②忘年会の参加人数について

二、会員増強委員会

①ドリカム200体制の充実

②ゴルフコンペの開催について

三、研修・人材開発委員会

第5回「経営セミナー」について、

講師・場所・日時等詳細について・他

### 第三回理事会

9月14日(木)18時、於くわっち家

○委員会報告

一、総務委員会

①「沖縄賛助会員懇親会」についての最終確認

②忘年会の会費及びプランについて

二、会員増強委員会

①ドリカム200体制の充実の具体的方法

②ゴルフコンペの日時・場所等の詳細について

三、研修・人材開発委員会

第5回の総括及び第6回セミナー開催について

四、その他

沖縄芸能フェスティバル2017

協賛広告について・他

## 活動報告・活動予定

### 研修・人材開発委員会

新垣 卓也委員長

経験豊富な経営者の方々に講師にお招きして開催しております。

「実践の経営哲学を学ぶセミナー」の第5回を平成29年9月11日に開催いたしました。ほぼ満杯の会場は、時には鋭い質問が飛び交い、時には笑いに包まれるなど、非常に充実したセミナーとなりました。(次頁参照)

次回セミナー予定

講師：仲松健雄氏(当協会会長)

日時：平成30年1月22日18時(予定)

皆様の参加をお待ちしております。

### 総務委員会

近藤 ゆうな委員長

10月7日 沖縄経営者協会・関東沖縄経営者協会 懇親ゴルフ大会開催

琉球ゴルフ倶楽部 参加人数 56名

10月7日 沖縄賛助会員懇親会開催

ナハテラス ゆうなの間 参加人数 55名

11月12日 会員ゴルフコンペ

取手桜ヶ丘ゴルフクラブ

12月7日 関東沖縄経営者協会忘年会

東海大学校友会館

12月16日 カラオケ大会

### 沖縄賛助会員懇親会 10/7 ナハテラス



沖縄協会 上原副会長による乾杯の挨拶



沖縄県経営者協会 安里昌利会長



元沖縄県知事 稲嶺 恵一氏



沖縄県経営者協会 山城勝常務理事・事務局長



沖縄県経営者協会 金城棟管副会長



沖縄ツーリスト(株) 平良健社長



琉球新報 富田詢一社長



沖縄県産業振興公社 下地明和専務理事



沖縄協会 新垣昌頼専務理事



沖縄協会 上原良幸副会長

経営セミナー 研修委員会主催 9月11日6時半～20時  
会場 メディアワン会議室

## 私の人生観 ～逆境に耐える方法～

京浜スチール工業株式会社  
代表取締役社長  
川崎沖縄県人会会長

比嘉 孝氏



ドロボーでも社会の役にたっている。

冒頭から驚かれる方もいらっしゃると思います。

私の友人の元警察所長が定年後にぼったり自分が

昔捕まえた男と出会ったそうです。その元犯人も今では更生していて、「あの時捕まえてくれてありがとうございました」とお礼を言ったそうです。しかし、その元所長も心の中で「お前を捕まえたおかげで、所長になれた。ありがとう」と思ったそうです。考えてみれば、悪い人がいなければ、警察関係の職はいらないということになります。また、少し乱暴ですが、悪い人がいるから、自分が良く見えるという見方もできると思えます。このような考え方をしていると、イヤな思いをしても、相手をすぐに許せるからストレスが溜まりません。人間関係が間違いなく、早く楽になります。逆境においては負があれば必ず正が存在します。辛抱すれば負は長く続かず、必ず正(幸せ)になります。

私は母子家庭で育ちました。父は終戦後米軍が酒酔い運転をする自動車にひかれて亡くな

りました。当時の世の中ではその米軍を捕まえて罪に問うということはとても難しいことでした。そのような家庭環境の下、早く自立して母に楽をさせてあげたいという思いで、幼い頃から姉とタマゴ売りをして働いていました。また、働く事が好きでしたので、20歳から比嘉組という看板で親方をし、その後南栄工業を設立しました。取引先の倒産等辛い時もありましたが、とにかく働いて、一年は365日ですが、徹夜や残業等で500日分くらいは働いていたのではないかと思っています。それらを乗り越える事で次のステージへ上がって行くという確信のようなものがありました。そして、それは現実にそうなっていきました。

作家の城山三郎が好きで、ほとんどの本は読んだと思います。なかでも、題名は忘れましたが小説の一節にあつた与謝野鉄幹の詩に感激しました。

『我男の子、意気の子、名の子、剣の子、詩の子、恋の子、ああもだえの子』

その詩を読んだ時、「俺は男だ、元気出せ！比嘉の子だ、武士の子だ、優しさもあるが暴れてやる！」貧乏でイジケタ心に光がさして一変しました……。

夢をもって家族や社員のために頑張る。その思いで今日まで続けてきました。お金は大事です。幸せや愛の中にも経済は必要だと思っています。

私は、若い頃から慈善団体等への寄付などを心がけて行なってきました。このような事は徳を積むと言われますが、相手を思いやる

事も徳を積むことになると考えています。そうすれば運も引き寄せられると信じています。目の前の仕事を一生懸命やる。それも徳を積んでいるということになると思います。

現在は、10年ほど前に購入した京浜スチール工業株式会社、社員40名程の小さな会社の社長の傍ら、川崎沖縄県人会の会長をしております。

プライベートでは子供6人、孫10人です。今が一番幸せだと思つてます。そして、自分が亡くなる時、人生を振り返って「いい人生だった。そして周りに感謝しつつ終わりたい！」日々奮闘しております。

(了)



講師の比嘉氏と参加者一同

## 会員コラム① 仲松 健雄会長



関東沖縄経営者協会名誉会長 重田辰弥氏に20年前初めて会った時、「40歳を過ぎたら故郷に貢献しろ！」と言われました。貢献するための方法を尋ねると、「関東沖縄経営者協会に入会すればいいのだ」と諭されました。当時、私は東京で長年勤めた会社を退職し、家業を継ぐ準備と新規事業参入のための新会社設立に明け暮れ、故郷のことをほとんど忘れていました。そのような私が同協会に入会して心掛けたことは、「自分のメリットを求めるのではなく、自分が同協会のために何が出来るかを考えること」。それが、故郷への貢献に繋がるのではないかと思ったからです。先日、都内を走る山手線の吊り広告に「オリンピックが何をしてくれるか、ではなく、オリンピックのため何ができるか、だ」とあるのを目にした時には、とても共感しました。時が流れて現在、私は同協会の会長を務めています。全ては重田氏との出会いとご縁を大切にしたらからだと思えます。

さて、江戸時代に徳川家の剣術指南役だった柳生家の家訓に、「小才は、縁に出会って縁に気づかず。中才は縁にきづいて縁を活かさず。大才は、袖振り合う縁をも活かす。」とあります。人との出会いで人生が変わります。人間は一人の力で生きているのではなく、様々な出会いと縁

によって生かされ生きています。「出会い」を「縁」にして活かし、いかに多くの人の役に立つかが重要です。縁を活かし感謝しながら生きることが、豊かで充実した人生を送るポイントだと思います。

関東沖縄経営者協会は、毎年1回開催する「定時総会」・「忘年会」、定期的に開催する「経営セミナー」・「ゴルフコンペ」・「カラオケ大会」など、出会いの場を提供しています。現役バリバリの経営者と名刺交換をしながら交流を図る事が出来ます。

会員の皆様には、この出会いの場に積極的に参加して人脈づくりとビジネスに活かす情報収集に活用してもらいたいと願っています。

### 会員ニュース

## ロッキーチャレンジ賞のハット

仲村 巖理事



ロッキーチャレンジ賞は今年で8回目を迎えた。今年の受賞者は琉球大学特任准教授の宮里大八さんが受賞した。

大学と社会を結び付け研究成果を実社会で生かすコーディネーターとして活躍している。幅広いネットワーク活動による実社会で役に立つ人材の育成を評価されての受賞である。昨年は国立天文台ハワイ観測所の嘉数悠子博士が受賞している。第1回は創造性開発、チャレンジ教育

活動家の飯塚悟先生。第2回は広島大学放射光科学研究センターの教授の島田賢也博士。第3回は国連本部の新垣尚子氏。第4回は琉球大学准教授瀬名波出博士。第5回はIT起業家でレキサス代表の比屋根隆氏。第6回は沖縄科学技術大学の新里宙也博士が受賞した。新里博士は受賞後に東京大学助教授に栄転された。

いずれの受賞者も受賞後の活躍も目覚ましく、日本を代表する沖縄のキラ星達である。沖縄には目立たないところで活躍している若い有能な人材がまだまだいる。それらの人材の活動を応援し、スポットライトを当てることにより後輩たちの身近な目標になれるといい。

ロッキーチャレンジ賞の母体である仲村巖チャレンジ基金は2009年に設立した。その年私は48年にわたる企業人生活を卒業している。その直前に関東沖縄経営者協会の依頼により40周年記念講演をする機会があった。講演をきっかけに関東沖縄経営者協会や県人会や様々な郷友会等の活動をしていることを知った。同時に長い企業人生活の間、毎年夏休み、冬休み、清明祭、お盆に家族を連れて帰郷し、家族ともども楽しませていただいたにもかかわらず、沖縄に貢献していないことを知らされた。

すぐに退職金を活用し沖縄の有能な人材を応援する基金を設立することに思い至った。気づきを与えていただいた関東沖縄経営者協会には感謝している。さっそく関東沖縄経営者協会に入会させて頂いた。

# 連載 私の半生

重田 辰弥名誉会長



## 創業三〇年を顧みる！①

私は昭和五三年、三八歳で会社を立上げ、平成二〇年の六八歳、創業三〇年で代表取締役を退任、後輩に社長職を譲渡しました。この間、一期を除き、些少ながら黒字経営を継続、社長退任後東証一部同業と資本提携、株式交換を合併しますが、この背景と理由は後に紹介したいと思います。

よく「創業は易く、継続は難し」とか「築城三年、落城三日」とか経営の継続の難しさが言われますが、私の経験では継続もさることながら「継承」後継者、後継ぎがもつと難しいと感じます。事業承継としてのM&Aの経験も後に紹介出来たらと思います。

私は一九四〇年、満州（ハルビン）で生まれ六歳まで育ち、終戦で故郷の奄美大島に引き揚げ、小学校六年の時、父親が働く沖縄に移住、中学・高校を過ごし、琉球大学を一年で退学、上京後今日まで東京で暮らします。琉大退学後一年浪人の末、早稲田大学（第一文学部）に入学し卒業しますが、その後中央大学

（第二部）や東京大学（新聞研）に入学しますが、いずれも数カ月で退学します。

早稲田を卒業後、琉球新報社東京総局に記者として入社しますが、本社転勤を断り一年で退社、国家公務員（総務庁・行政管理庁）に就職しますが、これも、三年で退職、二八歳でビジネス・コンサルタント会社に転職しました。

昭和四〇年代のこの頃はIT黎明期で、私が転職したコンサルタント会社も、コンピュータ活用のシステム部門を立ち上げましたが、私はその部門の営業部転属を希望し、配属されます。後に私はそのシステム部門の売上大半を達成、システム部長に就任しますが、これが後にスピントフ・独立の切っ掛けになりました。

「文学部卒の重田さんが、よくIT会社を立上げ、継続しましたね？」と言われますが、その背景と経緯をこの機会に述べたいと思います。

満州↓奄美↓沖縄↓東京。新聞記者↓公務員↓コンサルタント↓経営者。文学部卒↓IT経営という有為転変の私の経歴から、しばしば「重田さん、早く自分史書いてよ！」と督促されます。

関東沖縄経営者協会の機関紙掲載をチャンスに「自分史に挑戦したい」と思います。忌憚のない応援とご批判コメントよろしくお願ひします。

### ゆいまゝる広場

#### FC琉球から

#### ゆいまゝるパートナーのご案内

「子ども達に夢を」を掲げて取り組んでいます。その理念を実現させるためにクラブと共に歩んでいただけるゆいまゝるパートナーを募集しています。



©2003 RYUKYU FOOTBALL CLUB CO., LTD  
©2003 F.C. RYUKYU

- ゆいまゝるパートナー（年間）
- ・ゴールド 三十二万四千円（税込）
- ・シルバー 十万八千円（税込）
- ・ブロンズ 五万四千円（税込）
- 特典／ホームゲームチケット、公式HPや試合会場にて貴社名掲出など

詳しくは、担当 島袋まで

Tel: 098-923-0547

e-mail: shimabukuro@fcryukyu.com

http://www.fcryukyu.com/

ゆいまゝる広場は、会員の皆様が発信したい情報を掲載する広場です。掲載ご希望の方は、根間までご連絡ください。  
(nema@dolphins.ne.jp)

#### 事務局より 豊島 立子事務局長

会員証の発行を予定しております。皆さんのご意見やご要望をできるだけ反映できますよう頑張りたいと思います！

### 一般社団法人関東沖縄経営者協会会報

発行日 2017年10月31日発行 通巻第6号  
発行 一般社団法人関東沖縄経営者協会  
発行人 仲松 健雄

デザイン・印刷 (株)ドルフィンズ  
編集 広報委員長 根間 柁至

広報委員会 委員長 根間 柁至 副委員長 豊島 立子 委員 新垣 卓也、近藤 ゆうな、大城 章男  
住所 〒104-0028 東京都中央区八重洲2-11-2城辺橋ビル TEL:03-3271-5567 FAX:03-3281-4320  
E-mail info@kanoki.jp URL www://kanoki.jp FACEBOOK https://www.facebook.com/kanoki.jp

新規会員を募集しております。ご希望の方、ご連絡をお待ちしております！

